

9 整形外科フェロー研修要綱

指導責任者 金子浩史、北村暁子

目標

主な小児整形外科疾患の診断と治療の基礎を学ぶ。

頻度が高い股関節疾患、足部疾患、脚長不等、下肢変形においては、その領域での専門性を高める。

具体的目標

1 外来診療の基礎

こども家族との接し方、診察法、説明と同意のとり方

2 小児整形外科 X 線診断の基礎

成長に伴う変化、こどもに多い Normal variants の理解

3 股関節疾患

発育性股関節形成不全（先天性股関節脱臼）

臨床所見のとりかた、画像診断（X 線・超音波）、装具治療（リーメンビューゲル法）、牽引治療（オーバーヘッド牽引法）、補正手術

ペルテス病、大腿骨頭すべり症

臨床所見のとりかた、画像診断（X 線・超音波・MRI）、手術治療、装具治療

4 足部疾患（先天性内反足、麻痺性足部変形など）

臨床所見のとりかた、X 線診断、ギプス矯正、手術治療、装具治療

5 脚長不等・下肢変形・低身長に対する骨延長術および変形矯正術

創外固定器（イリザロフ法・単支柱法）の基礎、Guided growth（成長抑制）の基礎、手術手技、延長手技、理学療法

週間スケジュール

病棟カンファランス 1～2 回／月、初診患者および手術検討会 1 回／週、抄読会 1 回／2 週、手術 3～4 日／週

診療実績及び手術実績

○診療実績（過去 5 年間）

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
外来延べ患者数	6,494	6,834	7,048	6,848	6,524
外来新患者数	1,009	1,077	1,041	1,044	896
入院延べ患者数	4,488	3,874	4,016	4,020	3,474
手術件数	232	273	244	235	229

○手術実績（過去5年間）

	2018年 度	2019年 度	2020年 度	2021年 度	2022年 度
発育性股関節形成不全（先天性股関節脱臼）					
観血整復術					
観血整復術＋ソルター手術					
観血整復術＋大腿骨骨切り術		1	4		
ソルター手術＋大腿骨骨切り術	1		1	1	1
ソルター手術	10	10	9	9	8
寛骨臼回転骨切り術					
大腿骨骨切り術					2
牽引による整復、股関節造影ギプス	2	5	5	2	5
股関節造影	1	3	3	1	
ペルテス病					
ソルター手術	3	1	2	1	5
ソルター手術＋大腿骨骨切り術	2				
大腿骨骨切り術	1				
大腿骨頭すべり症					
ピンニング	5	5	7	11	8
大腿骨骨切り術					
脚長不等、下肢変形					
骨延長術（創外固定器）	11	3	12	8	9
骨延長術＋変形矯正術（創外固定器）	2	1	1		
変形矯正術（創外固定器）	1		1		
変形矯正術（髓内釘）		5	6	3	
骨端軟骨発育抑制術	14	25	32	31	29
骨形成不全症					
変形矯正＋髓内釘	2	6	3	12	1
先天性内反足、麻痺性足部変形					
距骨下全周解離術					
後方・後内方解離術	3	9	3	5	2
内反足手術（＋腱移行）	7	4		5	
骨切り術		1			
Ponseti 法アキレス腱切離術	18	12	17	12	13
腱移行術		5	6	8	7
他足部疾患	20	25	23	15	17
膝疾患		4	1		1
筋性斜頸	4	9	2	9	8
他脊椎疾患	1	1			
骨軟部腫瘍	2	2	3	2	3
上肢疾患	13	11	5	5	7
ばね指		4		1	1
化膿性関節炎、骨髄炎	3	7	6	2	
骨折骨接合術	8	9	10	4	5
偽関節手術	1	1	1		
その他（抜釘等）	57	68	59	64	64
ボツリヌス注射	29	31	25	16	27
筋生検	7	6	1	7	6
計	232	273	244	235	229